

## 発生動向の概況

RS ウイルス感染症の定点当たり報告数は、第 36 週 1.6 人から第 37 週 1.3 人、第 38 週 0.9 人と 2 週続けて減少したものの、2004 年の調査開始以降最多であった昨年と同じ傾向であり、依然高い水準を保っています。多発していた今治保健所と松山市保健所で減少したものの、県内全域で患者発生がみられます。

手足口病の定点当たり報告数は、8 月上旬の第 32 週 9.3 人をピークに、第 37 週 4.2 人から第 38 週 2.6 人と減少しました。第 36 週に多発していた今治保健所と宇和島保健所を含め、すべての保健所で減少しています。

前回報告したとおり、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の届出が 1 例ありました。また、日本紅斑熱の届出が第 37 週に 1 例ありました。いずれもマダニに咬まれることによって感染しますので、マダニに咬まれないよう、草むらや藪など、マダニの生息場所に入る場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用し、肌の露出を少なくしましょう。また、マダニに咬まれたときは、医療機関で取ってもらいましょう。

## 県内での感染症発生状況

### 全数把握感染症

- 二類感染症 : 結核 8 例
- 四類感染症 : 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 1 例 (90 歳代男性、前回報告分)  
日本紅斑熱 1 例 (60 歳代女性)
- 五類感染症 : 破傷風 1 例 (80 歳代女性)

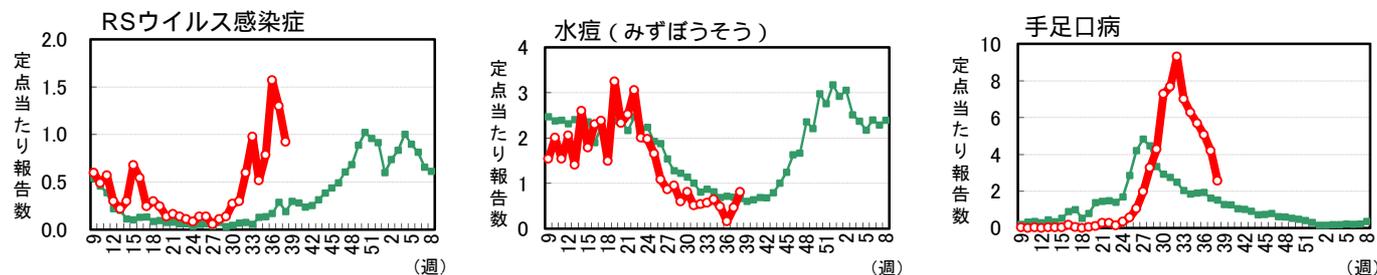
### 定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
RS ウイルス感染症	➡ 0.9	多発していた今治保健所と松山市保健所で減少したが、県内全域で発生。
感染性胃腸炎	➡ 4.2	横ばいで推移。東予地区と松山市保健所でやや多く、南予地区は少数。
水痘	➡ 0.8	今治保健所と中予保健所でやや増加。
手足口病	➡ 2.6	多発していた今治保健所と宇和島保健所を含め、全ての保健所で減少。
ヘルパンギーナ	➡ 0.5	減少傾向が続く。患者数は少ないものの、今治保健所でやや増加。

### 解析評価委員のコメントから

- RS ウイルス感染症：少し見られるようになってきたようです。(東予)  
やや増加しています。家族内感染も多いようです。(中予)  
増加傾向にあり、当院では先週から今週にかけて 6 名の入院がありました。全例軽く治まっています。(南予)
- 手足口病：減少してきていますが、一部の保育園ではまだ流行しています。軽症例が多いです。(東予)  
減少しています。(中予)
- 無菌性髄膜炎：南予にのみ発生した今年の夏の無菌性髄膜炎もそろそろ終わりのようです。(南予)

### 過去 30 週の動向 (○ : 過去 30 週の動向、◆ : 過去 10 年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。  
感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.jp) までお願い致します。

ブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況調査では、9 月に HI 抗体陽性率が 100%になりました。2ME 感受性抗体陽性率は低下していますが、しばらくは蚊に刺されないようにするなど注意が必要です。なお、現在までに、県内での日本脳炎患者の届出はありません。

8月下旬から9月中旬に採取された手足口病、不明発疹症、不明熱及び上気道炎患者検体からコクサッキーウイルス(C)A6 型が 7 例、CB3 型が 3 例、CA9 型及び RS ウイルスが各 1 例検出されました。発疹を伴わない疾患からは複数のウイルスが検出されていますが、手足口病等発疹症からは CA6 型が多く検出されています。また、無菌性髄膜炎からエコーウイルス 6 型が 1 例検出されました。

感染性胃腸炎では、9月上旬から中旬に採取された検体から下痢原性大腸菌が2例、ノロウイルスGII及びサポウイルスが各1例検出されています。

過去 4 週 検出病原体

(8 月 19 日以降採取検体 )

ブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況(愛媛県)

採血月日	検査頭数	HI抗体陽性数 <sup>1)</sup>	2ME感受性抗体	
			検査件数 <sup>2)</sup>	陽性数
7月 9日	10	2(20%)	-	-
7月 16日	10	0	-	-
7月 23日	10	4(40%)	4	4(100%)
8月 6日	10	5(50%)	2	1(50%)
8月 13日	10	8(80%)	8	6(75%)
8月 27日	10	6(60%)	4	2(50%)
9月 3日	10	9(90%)	9	2(22%)
9月 17日	10	10(100%)	10	2(20%)

- 1) HI抗体価は、ブタが日本脳炎ウイルスに感染したことを示す。  
(1:10以上を陽性)  
2) 2ME感受性抗体(IgM抗体)は、最近感染したことを示す。  
(HI抗体価 1:40以上について検査)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検 体	例数
34	8/19 ~ 8/25	四国中央	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
35	8/26 ~ 9/1	四国中央	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞 便	2
				ノロ	糞 便	1
			手足口病	コクサッキーA9	咽頭ぬぐい液	1
			不明熱	コクサッキーA6	糞 便	1
発疹症・不明発疹症	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1			
36	9/2 ~ 9/8	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞 便	1
				ノロ	糞 便	1
				サポ	糞 便	1
			上気道炎	コクサッキーB3	咽頭ぬぐい液	1
		不明熱	コクサッキーB3	咽頭ぬぐい液	1	
		発疹症・不明発疹症	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1	
		宇和島	無菌性髄膜炎	エコー 6	咽頭ぬぐい液・髄液	1
37	9/9 ~ 9/15	松山市	感染性胃腸炎	下痢原性大腸菌	糞 便	1
			手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
				コクサッキーB3	咽頭ぬぐい液	1
			不明熱	RS	咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

臨床診断別検出結果(2013年7月以降採取検体)

検出病原体	検体採取月							合計
	2013							
コクサッキーA6	4	5	6	7	8	9	31	
コクサッキーA9				1	1		2	
コクサッキーA16			3	2	2		7	
コクサッキーB3				4	3	3	10	
コクサッキーB5		2	1	1			4	
エコー 6			2	7	1	1	11	
エンテロ 71			1	2	1		4	
ライノ	2	1	1	2	6		12	
インフルAH1pdm09		1					1	
インフルA香港	3						3	
インフルB	1	4					5	
RS	2			1		1	4	
ムンプス			1				1	
ロタ	7	4	2				13	
ノロ	2	12	8	6	6	1	35	
サポ	8	5			1	1	15	
アデノ			1				1	
アデノ 1	4						4	
アデノ 2		4			1		5	
アデノ 5	1	1					2	
アデノ 6			1				1	
単純ヘルペス 1				1			1	
ウイルス計	30	34	22	44	33	9	172	
細菌								
下痢原性大腸菌	1	3	5	5	4	2	20	
サルモネラ O7		1					1	
細菌計	1	4	5	5	4	2	21	

検出病原体	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	無 菌 性 髄 膜 炎	下 気 道 炎	上 気 道 炎	不 明 熱	発 疹 症 ・ 不 明 発 疹 症	合 計
コクサッキーA6		26				1	3	30
コクサッキーA9		2						2
コクサッキーA16		4						4
コクサッキーB3		3	2		2	3		10
コクサッキーB5		1						1
エコー 6			8	1				9
エンテロ 71		3						3
ライノ		7		1				8
RS				1		1		2
ノロ		13						13
サポ		2						2
アデノ 2						1		1
単純ヘルペス 1				1				1
ウイルス計	15	46	10	4	2	6	3	86
下痢原性大腸菌	11							11
細菌計	11							11

愛媛県 定点把握五類感染症 2013年

第 38 週 (2013.9.16 ~ 9.22)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点			基幹定点					四国中央 西 条 今 治 松 山 市 中 予 八 幡 浜 宇 和 島 愛 媛 県 1週前 2週前 3週前 年 齢 別 0-5ヶ月 6-11ヶ月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10-14 15-19 20-29 <sup>4)</sup> 30-39 40-49 50-59 60-69 70-79 <sup>5)</sup> 80-	
	1) インフルエンザ		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎		1) インフルエンザ(入院)
	迅速検査A型	迅速検査B型															迅速検査A型	迅速検査B型					
四国中央			2			18	2	4		3				2	-	-							四国中央
西 条	1		5			30	4	13		3		1											西 条
今 治			7		3	20	8	15		7		11				1			1				今 治
松 山 市			10	4	4	74	9	35		7		5	4		6		-	-	-	-	-		松 山 市
中 予			3	1	11	10	7	8		1		1											中 予
八 幡 浜			2	2		3		16		2		2											八 幡 浜
宇 和 島			5	1		2		4															宇 和 島
愛 媛 県	1		34	8	18	157	30	95		23		20	6		7				1				愛 媛 県
1週前			48	6	26	176	17	155		34	1	21	8		8				1	1			1週前
2週前	6	5	58	8	23	154	6	187	1	28	1	33	11		20				1	1			2週前
3週前	3	2	29	7	23	157	18	210		39		36	8		11				2				3週前
0-5ヶ月			2		1	3	1	1		2													0
6-11ヶ月			7			15	1	7		6		1							1				1-4
1			16			36	7	47		12		2			1								5-9
2			5	4	1	18	5	19		3		10	1										10-14
3			3		4	14	4	9				1	2		1								15-19
4			1	1	1	18	4	3				3			2								20-24
5				2	3	13	3	3				1											25-29
6						9	2	1					1										30-34
7					2	4		1				1	1										35-39
8						5																	40-44
9				1	4	4	2						1										45-49
10-14	1				2	10	1	3				1											50-54
15-19						1																	55-59
20-29 <sup>4)</sup>						7		1															60-64
30-39															2								65-69
40-49																							70-
50-59																							
60-69															1								
70-79 <sup>5)</sup>																							
80-																							

定点当たり報告数

四国中央		-	-	.7		6.0	.7	1.3		1.0		.7	-	-									四国中央
西 条	.1	-	-	.8		5.0	.7	2.2		.5		.2											西 条
今 治		-	-	1.4		4.0	1.6	3.0		1.4		2.2			1.0				1.0				今 治
松 山 市		-	-	.9	.4	.4	6.7	.8	3.2	.6		.5	.4		2.0		-	-	-	-	-		松 山 市
中 予		-	-	.8	.3	2.8	2.5	1.8	2.0	.3		.3											中 予
八 幡 浜		-	-	.5	.5		.8		4.0	.5		.5											八 幡 浜
宇 和 島		-	-	1.3	.3		.5		1.0														宇 和 島
愛 媛 県	.0	-	-	.9	.2	.5	4.2	.8	2.6	.6		.5	.2		.9				.2				愛 媛 県

1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 3) オウム病を除く。  
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。  
 \*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	中 予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は9月25日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。





全国 定点把握感染症 2013年 第36、37週 (2013.9.2～9.15)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点					
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎		
36週	愛媛県	.1	1.6	.2	.6	4.2	.2	5.1	.0	.8	.0	.9	.3		2.5		.2	.2		
	近畿県	香川県		.7	.3	.4	3.2	.4	2.2		.4		1.1	.1		1.0				
		徳島県	.1	.9	.1	.7	4.2	.5	3.8		1.4		.7			.5				
		高知県		.4	.5	.4	1.2	.6	5.1		.4		1.0	.9					.1	.1
	全国	.0	.8	.5	.8	3.1	.5	3.9	.0	.6	.0	1.2	.2	.0	.8	.0	.1	.3	.0	
	北海道		.5	.2	1.5	1.6	.3	10.3	.0	.5	.0	3.4	.1		.1			.2		
	東北	.0	.6	.1	.8	1.7	.4	6.0	.1	.6		2.6	.4		.3		.0	.6		
	関東	.0	.5	.4	.8	2.9	.4	3.2	.0	.7	.0	.8	.2	.0	.7	.0	.1	.3	.1	
	甲信越北陸		1.1	.2	1.2	2.5	.6	7.6	.2	.6	.0	2.1	.2		.2			.5	.1	
	東海	.0	.5	.4	.5	2.8	.5	4.1	.0	.6	.0	1.1	.2		.5	.1	.1	.4		
近畿	.0	.6	.3	.5	3.0	.5	2.9	.0	.6	.0	.8	.1		.8		.0	.2	.0		
中国四国	.0	1.1	.7	.8	3.8	.5	2.8	.0	.6	.0	.7	.2		1.0		.2	.2	.0		
九州沖縄	.1	1.9	1.7	.9	4.8	.8	1.8	.0	.7	.0	.5	.3	.0	1.8	.0	.2	.2			

(9.11集計)

37週	愛媛県		1.3	.2	.7	4.8	.5	4.2		.9	.0	.6	.2		1.0		.2	.2		
	近畿県	香川県		1.1	.3	.3	2.6	.4	2.4		.4		1.2			1.0				
		徳島県	.1	1.5		.3	3.8	.6	4.1		1.0		.3			.3		.2		
		高知県		.4	.2	.3	1.3	.5	6.7	.0	.7		1.3	.8		.7		.1	1.0	
	全国	.0	1.1	.5	.9	3.1	.5	4.0	.0	.6	.0	1.1	.2	.0	.8	.0	.1	.4	.0	
	北海道		.7	.2	1.4	1.7	.5	12.7	.0	.3	.0	3.5	.1		.2			.4		
	東北	.0	.8	.1	.8	1.7	.4	6.1	.1	.5	.0	2.3	.4		.3			.8	.0	
	関東	.0	.8	.4	.9	3.1	.4	3.1	.1	.7	.0	.8	.2		.8		.1	.4	.0	
	甲信越北陸	.0	1.4	.3	1.1	2.8	.6	7.2	.2	.5	.0	2.2	.3	.0	.3	.0	.0	.4	.0	
	東海	.0	.8	.4	.6	2.6	.4	4.3	.0	.6	.0	1.0	.2		.6		.0	.5	.1	
近畿	.0	1.1	.4	.7	2.7	.4	2.9	.0	.5	.0	.8	.1	.0	.9		.1	.4			
中国四国	.0	1.4	.7	.8	3.8	.5	2.7	.0	.6	.0	.6	.2	.0	.9	.0	.2	.3			
九州沖縄	.1	2.2	1.6	.9	4.7	.7	1.8	.0	.7	.0	.4	.4	.1	1.9	.0	.1	.2			

(9.18集計)

1) 鳥インフルエンザは除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。

